

令和2年(2020年)7月期 第1四半期決算概要

サムコ株式会社

証券コード:6387

20/7月期第1四半期決算のポイント

- 第1四半期の売上高は期初計画通り。通期売上目標62億円は変更なし。
- 5Gの本格導入や自動運転の進展を背景に、高周波フィルタ、高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサ等の電子部品分野向けが売上を牽引。
- 受注環境は引き続き改善し、第1四半期末の受注残高は2,439百万円と前期末比17.4%増加。
- 各利益は、海外市場にて収益性の高い販売があり、前年同期を上回る。

お陰様で設立40周年を迎えました

40th Anniversary
samco
1979 - 2019



- 1979 株式会社サムコインターナショナル研究所を設立。創業者の辻理が京都市伏見区のカレーで創業。
- 1980 半導体プロセス用I大型CVD装置を開発。
- 1981 化合物半導体製造用MOCVD装置を開発。
- 1982 マルチチャンバーシステム®PDM-303を開発。
- 1984 東京営業所を開発。
- 1985 新社屋完成により、本社を移転。
- 1987 シリコンパレーにオプトフィルムス研究所を開発。
- 1990 液体ソース®CVD装置PD-240を開発。
- 1991 研究開発センター、第2工場を完成。
- 1993 東海営業所、つくば営業所を開発。
- 1995 RIE装置RIE-10NRを開発。
- 1997 セミ量産用ICPエッチング装置RIE-200iPを開発。
- 1998 量産用ICPエッチング装置RIE-101iPCを開発。
- 2001 日本証券業協会店頭市場(ジャスダック)に上場。
- 2002 台湾事務所を開発。
- 2002 生産技術研究棟を完成。
- 2003 化合物半導体デバイス量産用プラズマCVD装置PD-220LCを開発。
- 2004 上海事務所を開発。
- 2006 MEMS用高速Siディープエッチング装置RIE-800iPBを開発。
- 2008 韓国事務所、台湾サムコグローバルサービスを開発。
- 2008 LED量産用ICPエッチング装置RIE-330iPCを開発。
- 2010 アメリカ東部事務所、北京事務所を開発。
- 2011 シンガポール支店を開発。
- 2012 SiCパワーデバイス用ICPエッチング装置RIE-600iPを開発。
- 2013 量産用ICPエッチング装置RIE-600iPC、RIE-800iPBCを開発。
- 2014 東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更。
- 2014 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定。
- 2016 Aqua Plasma®クリーナーAQ-2000を開発。
- 2016 第二生産技術棟を完成。
- 2018 マレーシア事務所を開発。
- 2018 ICPエッチング装置RIE-200iPNを開発。



化合物半導体デバイス用
ICPエッチング装置
RIE-200iPN

40年で、
4000台の装置が、
30カ国に納品されました。



20/7月期第1Q 実績報告

(単位:百万円)

		19/7月期1Q	20/7月期1Q	前年同期比 増減率
売上高	Net Sales	1,101	1,141	3.6 %
売上総利益	Gross Profit	508	584	15.0 %
売上高総利益率	Gross Profit Ratio	46.2 %	51.2 %	—
営業利益	Operating Profit	22	118	433.4 %
経常利益	Ordinary Profit	39	122	208.5 %
当期純利益	Net Income	26	88	227.0 %

- 売上高は期初計画通り。上期売上目標30億円の達成を目指す。
- 19/7期末受注残2,077百万円でのスタート、大型の特別仕様装置の利幅拡大や生産効率の向上などにより売上高総利益率が51.2%に大幅に改善。

20/7月期第1Q 装置別売上高

(単位:百万円)

	19/7月期1Q		20/7月期1Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
CVD装置	156	14.2 %	228	20.0 %	45.8 %
エッチング装置	569	51.7 %	492	43.1 %	△ 13.6 %
洗浄装置	165	15.0 %	230	20.2 %	39.5 %
部品・メンテナンス	210	19.1 %	190	16.7 %	△ 9.5 %
Total	1,101	100.0%	1,141	100.0%	3.6 %

- CVD装置では、海外のオプトエレクトロニクス分野向けの販売が148百万円と復活。
- エッチング装置では、国内の電子部品分野向けの販売が209百万円と順調。
- 洗浄装置では、国内の販売が128百万円、海外が101百万円とともに堅調。

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

20/7月期第1Q 分野別売上高

(単位:百万円)

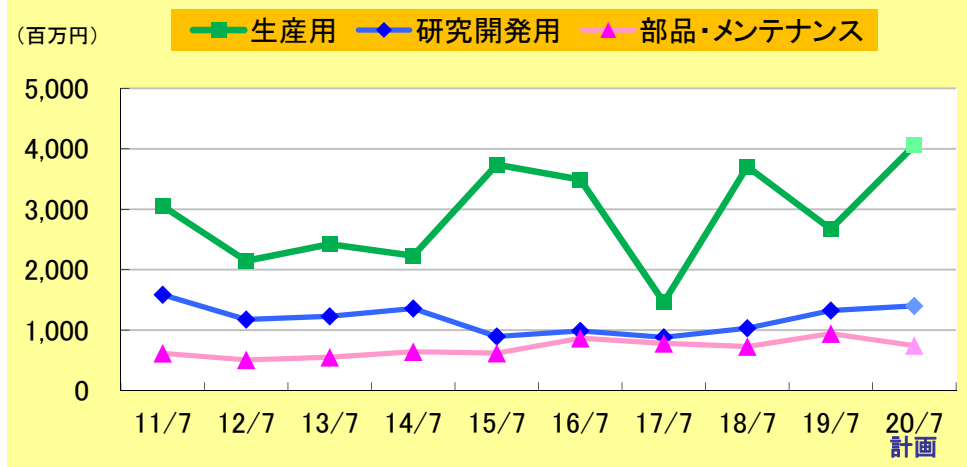
	19/7月期1Q		20/7月期1Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
オプトエレクトロニクス分野	319	29.0 %	193	17.0 %	△ 39.3 %
電子部品・MEMS分野	299	27.2 %	598	52.5 %	99.9 %
シリコン分野	71	6.4 %	34	3.0 %	△ 51.2 %
実装・表面処理分野	50	4.6 %	37	3.3 %	△ 25.4 %
表示デバイス分野	—	0.0 %	11	1.0 %	—
その他分野	150	13.7 %	74	6.5 %	△ 50.7 %
部品・メンテナンス	210	19.1 %	190	16.7 %	△ 9.5 %
Total	1,101	100.0%	1,141	100.0%	3.6 %

- 電子部品分野では、パワーデバイス向けの販売が213百万円、高周波デバイス向けが170百万円と好調。

20/7月期第1Q 用途別売上高

(単位:百万円)

	19/7月期1Q		20/7月期1Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
生産用	489	44.4 %	633	55.5 %	29.4 %
研究開発用	401	36.5 %	317	27.8 %	△ 21.0 %
部品・メンテナンス	210	19.1 %	190	16.7 %	△ 9.5 %
Total	1,101	100.0%	1,141	100.0%	3.6 %

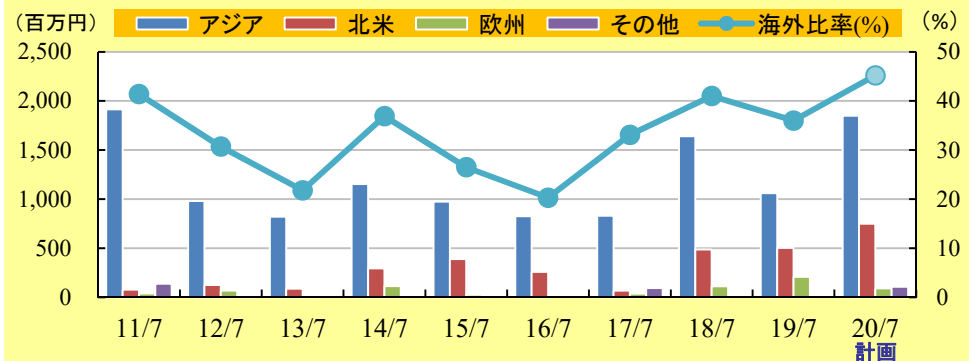


- 生産用の売上高は、高周波デバイス向けが170百万円、高周波フィルタ向けが139百万円と好調。
- 研究開発用の売上高は、パワーデバイス向けが117百万円と好調。

20/7月期第1Q 地域別売上高

(単位:百万円)

	19/7月期1Q		20/7月期1Q		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内	666	60.5 %	683	59.9 %	2.6 %
アジア	274	24.9 %	95	8.3 %	△ 65.4 %
北米	101	9.2 %	360	31.6 %	254.4 %
欧州	59	5.4 %	2	0.2 %	△ 95.8 %
(海外合計)	435	39.5 %	458	40.1 %	5.2 %
Total	1,101	100.0%	1,141	100.0%	3.6 %



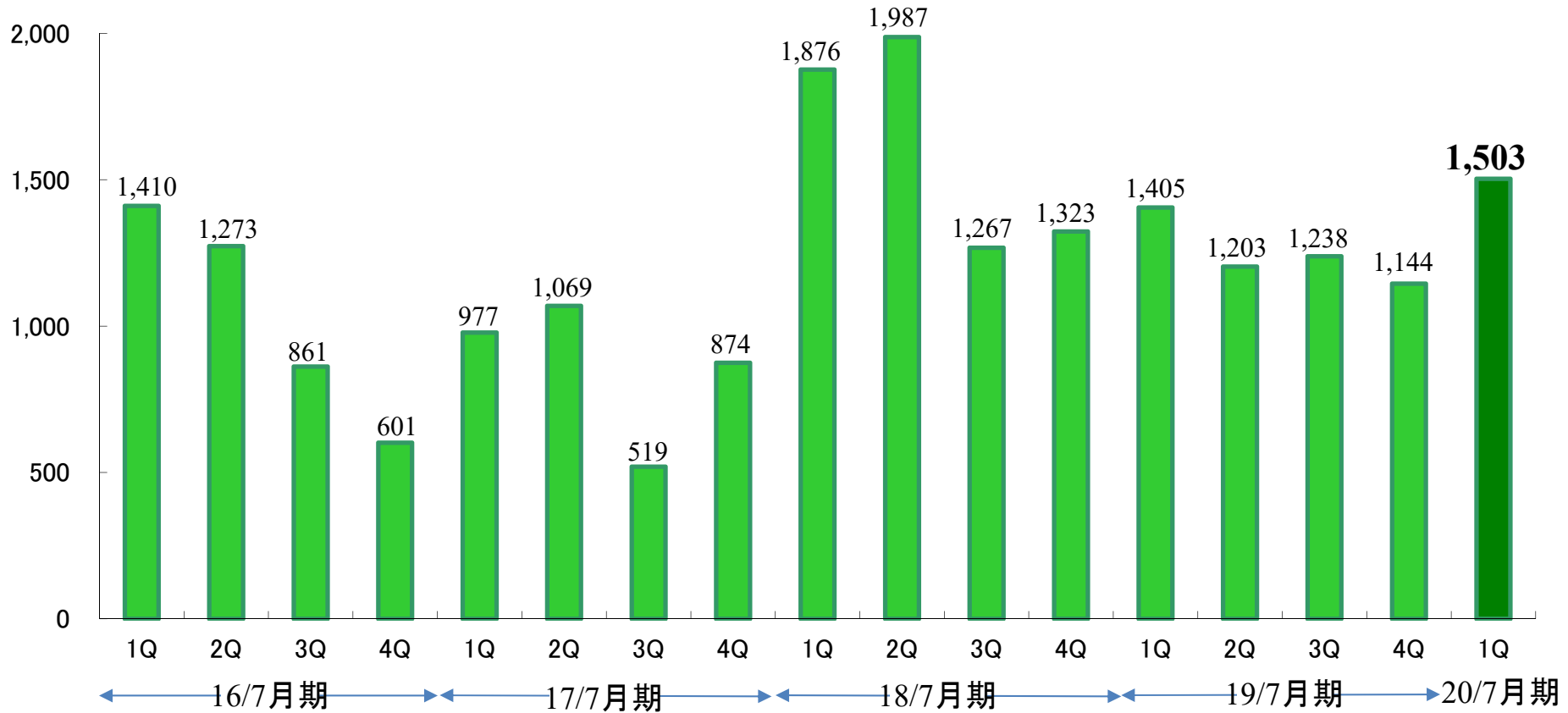
- アジアでは、19/7月期1Qに好調であったLD向けの販売で一服感。
- 北米は、高周波デバイス向けとパワーデバイス向けの販売好調により大幅増。

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

受注環境(受注高)の変化

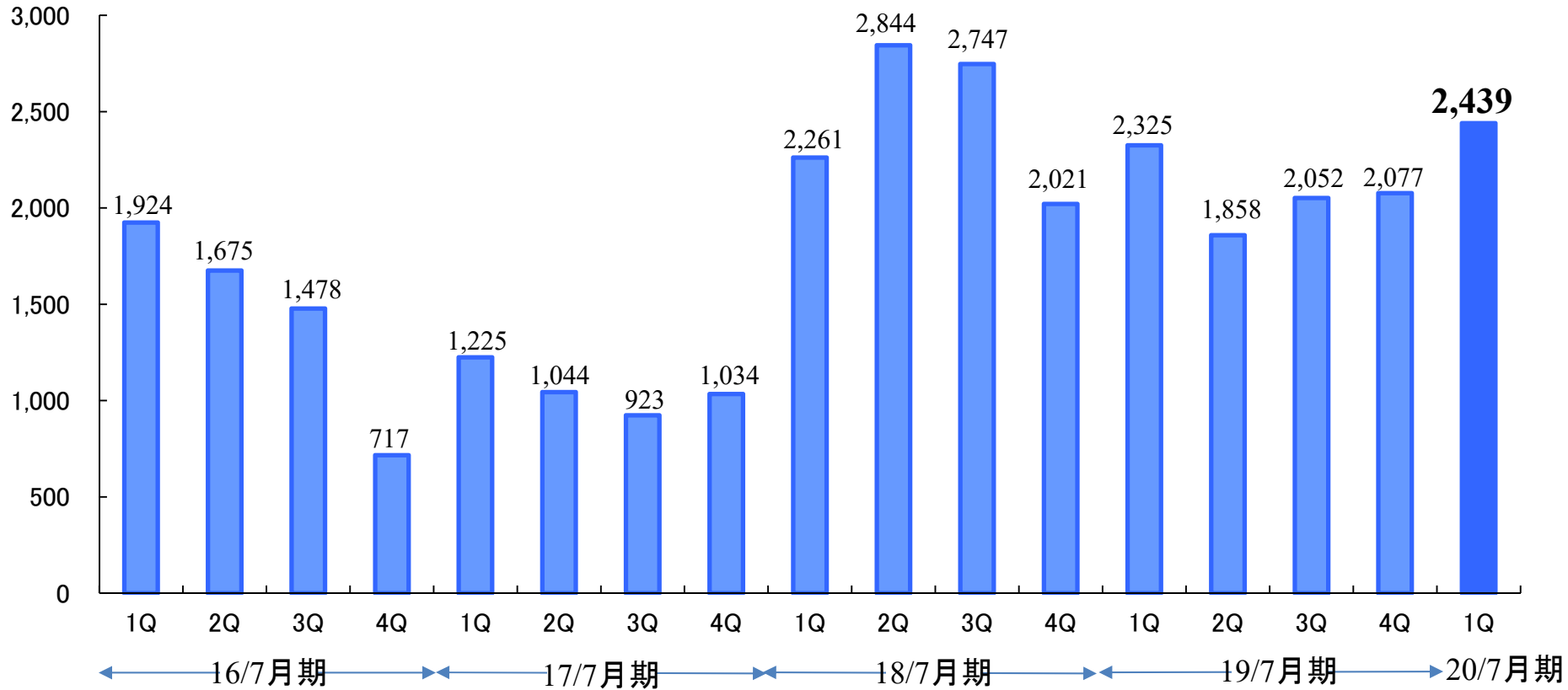
(単位:百万円)



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。
複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

受注環境(受注残)の変化

(単位:百万円)



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。
複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

お問い合わせ

サムコ 株式会社

広報・IR室

電話 : 075-621-7841

E-mail : koho@samco.co.jp

URL : www.samco.co.jp



薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。